

## いしかわ環境フェア2019等開催業務委託 企画提案仕様書

### 1 開催概要

- (1) 主催 いしかわ環境フェア2019 (以下「環境フェア」)  
：(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議  
いしかわの里山里海展2019 (以下「里山里海展」)  
：いしかわ里山づくり推進協議会  
いしかわ近未来の環境技術展2019 (以下「環境技術展」)  
：石川県
- (2) 日時 令和元年8月24日(土)、25日(日) 9:30~16:30  
(事前準備8月22日(木)午後・23日(金)、撤収25日(日))
- (3) 会場 県産業展示館4号館(展示スペース:6,675㎡)
- (4) テーマ 次世代のためにクールチョイス(今わたしたちにできること)
- (5) 趣旨

環境フェアは、環境保全活動に取り組む企業や団体等の率先した活動やハード・ソフトを含めた住まい方の具体的提案等を行うことにより、これまでの「普及・啓発」から県民の取り組みが「実行」へつながり、CO<sub>2</sub>の削減効果が「見える」イベントとする。

里山里海展は、いしかわの里山里海を見つめ直し、里山里海から得られる恵みや生物多様性についての理解浸透を図ることで、ふるさと石川を未来へつなぐものとし、環境技術展は、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する先進的技術や研究を見て、触れて、体験してもらうことを通じて、企業・大学等による取組みを県民に広く紹介する機会とする。

### 2 開催のねらい

- (1) 次の3つを柱とする。
  - ・エコライフ(地球温暖化防止・環境にやさしい生活スタイルの提案)
  - ・自然と人との共生(生物多様性・里山里海の利用保全)
  - ・新しい環境産業の創出(新エネルギー・技術革新)
- (2) (公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議の会員である、行政、企業、民間団体の取組みを県民に広く紹介するとともに、環境フェアへの出展を機に現在会員でない企業、民間団体を会員になっていただく機会とする。
- (3) 温室効果ガスの削減(新エネルギーの導入、省エネルギーの普及)につながる商品の紹介・普及を行う。
- (4) 今後のイベント運営のモデル(グリーンイベント)となるよう、二酸化炭素排出など環境負荷を抑制する工夫を極力取り入れる。
- (5) 石川県における環境ビジネスの振興を図る。
- (6) 環境教育を推進する。
- (7) 今回、第30回目となる環境フェアにふさわしい企画とする。

### 3 提案

平成30年度の開催内容等を参考にするとともに、別紙を参照の上、以下の条件の範囲

内で、できる限り具体的な内容で提案すること。また、提案にあたり、イベントへの誘客、会場内の回遊性、来場者が会場で楽しむことを考慮した提案であることを前提とする。

平成 30 年度の開催内容については、いしかわ環境フェアホームページ (<http://fair.eco-partner.net/>) を参照すること

#### [条件]

##### (1) 全般的事項

- ① 展示は、産業展示館 4 号館 (6,675 m<sup>2</sup>) で提案すること。
- ② 出展面積について、環境フェア、里山里海展、環境技術展を各概ね 1,000 m<sup>2</sup> とし、残りを受付、通路、ステージ、飲食コーナー等の共用スペースとして提案すること。  
環境技術展をテーマ展示ゾーンとして位置付け、レイアウトやメイン企画について提案すること。レイアウトについては、環境フェア、里山里海展、環境技術展の区分を明確にすること。
- ③ ステージ (看板 (ステージ上)・音響・照明・200 インチ以上のモニター画面を含む) を設け、ステージイベントを実施すること。
  - ・ステージの大きさ D5400mm×W9000mm×H600mm 程度
  - ・司会者を配置すること。
- ④ 子どもを対象とした工作・体験コーナーを設けること。
  - ・有料とする場合は、材料費等の実費相当額とし、金額と算定根拠を示すこと。
  - ・安全に配慮した企画とすること。
- ⑤ 屋外展示スペースも活用すること。
- ⑥ 集客について、目標来場者数を含めて提案すること。また、著名人の活用など、目標来場者数を達成するための方法を明示すること。  
〈参考〉 平成 30 年度 27,000 人
- ⑦ 告知宣伝ツールについて提案すること。
  - ・事前広報用のチラシ (100,000 部以上) 並びに当日来場者に配布するリーフレット類 (10,000 枚以上) は必須とする。
  - ただし、当日来場者に配布するリーフレット類については、別途発注を予定しているため、概算見積額を併せて提案すること。
  - 〈参考〉 平成 30 年度の告知宣伝ツール
    - ・チラシ 100,000 枚 (事前広報、小中学校配布等)
    - ・リーフレット 10,000 枚 (当日会場用)
    - ・新聞広告 北國新聞 (8 月 22 日)
    - ・テレビ 15 秒 CM (8 月 16 日～)
- ⑧ 平成 30 年度開催時の来場者・出展者のアンケート結果について、提案に際し考慮すること。(アンケート結果は、いしかわ環境フェアホームページを参照すること)
- ⑨ 企業等の販売を目的とする展示に係る出展料及び出展条件について、提案すること。
- ⑩ 今回の事業の主旨に合致し、実施することにより相乗効果が期待される講演などの併催イベント(主催者は費用負担なし)について、提案すること。
- ⑪ フェアの実施による二酸化炭素排出削減量を定量的に測定できる方法について提案すること。(フェア来場が契機となる来場者に係る二酸化炭素排出削減量)
- ⑫ 会場設営、イベント実施、開催事務局運営等に当たっての、二酸化炭素排出を抑

える工夫について提案すること。(特に、会場内を適温でかつ省エネに努めること。)

- ⑬ 環境フェア等の開催に際しての事前説明会を行うこと。
- ⑭ 飲食コーナーについて、主食3店舗以上を含む5店舗以上の出店として、出展業種条件等について提案すること。
- ⑮ 入場者数を把握する方法について提案すること。
- ⑯ 会場内に無線LAN (Wi-Fi 対応) を設置すること。
- ⑰ 総合受付について提案すること。
- ⑱ 会場回遊性向上のためのクイズラリーに要する経費 (スタンプカード兼アンケート用紙の作成、同用紙配布・回収所の設営、CO<sub>2</sub>削減量表示板の設置) については、別途発注を予定しているので、概算見積額を併せて提案すること。  
なお、会場回遊性向上のための工夫があれば、適宜提案すること。
- ⑲ 令和元年8月24日 (土) 10:30~13:30 に委託外事業としてエシカル・ラボ in 石川(仮称)の開催が予定されており、別途調整する予定であること。

## (2) 環境フェア

- ① 行政機関、(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議の会員の展示については、小間割㉔ (w 3 m×D 2 m)、会員以外の展示については、小間割㉕ (w 5 m×D 2 m)、里山里海展については、小間割㉖ (w 2 m×D 2 m) のパーテーション設置を原則とするが、パーテーションについては他の案があれば提案すること。

〈参考〉おおよその小間数 (過去の開催実績)

小間㉔ 約 90 (環境フェア 80・環境技術展 10)

小間㉕ 約 15 (環境フェア 12・環境技術展 3)

小間㉖ 約 30 (里山里海展)

- ② 小間㉔に机×2、椅子×2、団体名表示板、小間㉕に机×3、椅子×3、団体名表示板の設置を原則とするが、体験コーナーなど小間以外の設営について提案すること。

## (3) 里山里海展

- ① 本県の里山里海を効果的に発信するメインとなる企画について提案すること。
- ② 子どもたちが体験を通して生物多様性や里山里海について学べる企画を提案すること。
- ③ 世界農業遺産「能登の里山里海」の魅力を伝える企画について提案すること。
- ④ 生きものに関する企画について提案すること。
- ⑤ 上記以外で、1 (5)の趣旨に合致する企画・展示等について、自由に提案すること。

## (4) 環境技術展

- ① 省エネルギー・再生可能エネルギーの先進的技術の紹介について、以下を考慮のうえ提案すること。

- ・研究・開発段階のものも含め一般に普及していない技術の紹介とすること。
- ・スマートハウス、スマートシティに関連する技術を含むこと。
- ・県内のみでなく、県外の事業者・研究機関等の技術の紹介も含めること。
- ・県内の事業者・研究機関等の技術については、県が実施している「いしかわエコデザイン賞」の受賞作品も含めること。
- ・実物・映像・音響等の活用など、来場者にとって分かりやすい紹介手法とする

こと。

・説明員を配置すること。

- ② 省エネルギー・再生可能エネルギーの先進的技術に関する講演・実演会について
- ③ 子どもを対象とした省エネルギー・再生可能エネルギーに関する科学工作体験等について
- ④ 上記以外で、1(5)の趣旨に合致し、提案者が自由に企画する展示等について

#### (5) その他企画

提案のあった企画の他に、(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議、いしかわ里山づくり推進協議会及び石川県からの提案を含めた企画内容について実施すること。なお、企画内容については、受託者と協議の上決定することとし、委託予定金額のうち900,000円(税込み)を予算額とする。

※実際に行う企画内容、レイアウトについては、選定された業者の提案を基にするが、(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議、いしかわ里山づくり推進協議会及び石川県からの提案も含め、両者協議しながら決定するものとする。

#### 4 委託予定金額

8,000,000円以内(税込み)

- ① 会場借上料及び会場に付帯する経費(光熱水費、会場所定の机・椅子借上料)は含まない。(追加分の机・椅子借上料相当額を委託料から控除することができるものとする。)
- ② 当日来場者に配布するリーフレット類及び会場回遊性向上のためのクイズラリーに要する経費は含まない。
- ③ 3(5)のその他企画分予算900,000円(税込み)を含む。
- ④ 委託料は、出展による展示面積等の増減によって変更することができるものとする。
- ⑤ 本企画提案において選定された業者が、出展者から出展料等(名目は問わない)を徴収する場合は、他の出展者と不公平とならないよう会場借上料相当額を委託料から控除できるものとする。
- ⑥ 本企画提案において選定された業者は、後日、環境フェア、里山里海展、環境技術展、共用エリア及び共通経費等に区分し、さらにそれぞれの区分に含まれる企画ごとに、人件費、企画費、設営費等の費目ごとの金額を記載した、可能な限り詳細な見積書を提出するものとする。
- ⑦ 環境フェア2018で委託金額とは別に経費負担した主な企画は、以下のとおり。
  - ・ステージ出演経費  
田中直樹氏、小野泰洋氏、斉田季実治氏
  - ・設営費  
「COOL CHOICE」紹介、人力発電ミニ北陸新幹線、生きもの迷路、キャンプ図書館  
なお、環境フェア2019では、生きもの迷路、キャンプ図書館に替わりSDGs関連の事業となる予定

#### 5 委託業務の内容

- (1) 告知宣伝

- (2) 告知広報の実施(主催者及び石川県が実施する広報と連携すること)
- (3) 出展企業・団体の募集に係るサポート業務
- (4) 出展企業・団体との連絡調整
- (5) 出展企業・団体を対象とした事前説明会の実施
- (6) 会場の設営、イベント(開会式含む)の実施、会場整理(屋外含む)、警備、清掃、廃棄物処理、看護師手配
- (7) 開催事務局の運営  
(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議と連携して事務局を運営する。
- (8) 入場者数の把握(把握する方法について提案すること)
- (9) 開催結果報告書(次期開催時の改善提案含む)の作成 20部  
主催者が実施する来場者・出展者アンケートの結果やインターネット(SNS等)上の反応などを踏まえた報告書を作成するとともに改善提案すること。

〈連絡先〉

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地(いしかわエコハウス内)  
公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議  
TEL 076-266-0881 FAX 076-266-0882 メールアドレス info@eco-partner.net  
毎週月曜日・祝日・年末年始は休館日です。

## [条件] (1) ②関連

展示会場入口付近の展示内容（モニュメント等）についても提案すること。（平成 30 年度の例：アースバルーンデジタル地球儀）

## [条件] (1) ③関連

すでに実施を予定している以下のステージイベントを考慮の上提案すること。

- ・ 8月24日（土）10:00～10:30 環境月間・愛鳥週間ポスター表彰式  
10:30～13:30 エシカル・ラボ in 石川
- ・ 8月25日（日）10:00～13:30 いしかわエコデザイン賞 2019 公開プレゼン  
13:30～14:30 SDG s 関係講師による講演会

## [条件] (4) 関連

平成 30 年度に実施した主な企画（ゾーン）は以下のとおり。提案にあたっては、前年度企画からの 継続/拡大/一部変更/新規/廃止 の別、企画提案内容及びその考え方、委託者と提案者の役割を明確にして記載すること。

## (H30 主な企画及び記載例)

H30 主な企画(ゾーン)	R1 企画 (案)	R1 の提案内容 及び考え方	役割	
			委託者	提案者
近未来の環境技術ゾーン	SDGs 関連企画	県において考案	企画考案	
—	過去・現在・未来の環境技術企画	同上	企画考案	・レイアウト提案 (望ましい) ・設営
モビリティゾーン (H30:電動バイク、自転車)		〇〇のため継続		
エコリビングストリートゾーン		〇〇のため拡大		
エコ学びゾーン		〇〇のため一部変更		
ステージゾーン		〇〇のため廃止・新規		
屋外ゾーン				
〇〇ゾーン				

## [条件] (4) 関連

委託外事業として「SDG s 関連」「過去・現在・未来の環境技術」企画を実施する予定としており、別途調整する予定であること。なお、「過去・現在・未来の環境技術」については以下イメージ図を元に考案することから、レイアウト方法及び関連企画について提案することが望ましい。

(参考：イメージ図)

